

日本古生物学会 第 167 回例会

2018年2月2日（金）～2月4日（日）：愛媛大学 城北キャンパス

* * * * * 1. プログラム 概要 * * * * *

2月2日（金）会場：愛媛大学 城北キャンパス

【13:30-17:20】 シンポジウム「 Gondwana 生物相－その進化と特異性－」 ii

【18:00-20:00】 懇親会（愛媛大学 生協食堂 2階） iii

2月3日（土）会場：愛媛大学 城北キャンパス A, B 会場, ポスター会場

【9:30-10:30】 会長講演（A 会場） iii

【10:45-11:45】 一般講演 口頭発表 1（A, B 会場） iii-iv

【12:00-12:30】 ランチョン小集会（B 会場） iv

【13:00-14:30】 一般講演 ポスター発表コアタイム（ポスター会場） iv-vi

【14:30-15:30】 一般講演 口頭発表 2（A, B 会場） vi-vii

【15:45-17:00】 一般講演 口頭発表 3（A, B 会場） vii-viii

【17:15-17:30】 ポスター賞表彰式（ポスター会場付近） viii

【17:30-19:30】 夜間小集会（A 会場） viii

2月4日（日）会場：愛媛大学 城北キャンパス A, B 会場

【9:30-10:45】 一般講演 口頭発表 4（A, B 会場） ix

【11:00-12:15】 一般講演 口頭発表 5（A, B 会場） ix-x

【12:30-14:30】 化石友の会イベント（A 会場） x

発表方法と機器についての注意事項など（必ずお読みください） xi

その他会場案内など xii-xvi

第 167 会例会参加費：一般会員 6,000 円 学生会員 2,000 円 友の会会員 1,000 円

一般非会員 7,000 円 学生非会員 3,000 円

高校生以下無料（予稿集は有料，1冊 500 円）

***** 2. プログラム 詳細 *****

2月2日（金）

【13:30-17:20】愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

シンポジウム「ゴンドワナ生物相-その進化と特異性-」

コンビナー：堀利栄（愛媛大）・相田吉昭（宇都宮大）

ゴンドワナ大陸は古生代から中生代に南半球を中心に発達した大陸で、特異な生物相が進化・分布していたことで特徴づけられる。その特異性は、植物相・動物相とも際立っておりゴンドワナ生物相の進化発達過程に関しては様々な議論がなされてきた。近年、その議論が分子生物学的視点 また 地質学的視点から見直されようとしている。本シンポジウムでは、ゴンドワナ生物相の進化発達を制限してきた地質学的なフレームワーク、特に大陸の形成・分裂および沈降、また「失われた大陸ジーランディア」の存在とその古生物学的インパクトについて、ジーランディア説の提唱者であり古生物学者でもあるHamish Campbell博士に来日・御講演いただくと共に、ゴンドワナ植物相や海洋生物相の分布や進化、および消滅過程など、これまでの研究で明らかになった特異な記録を示す生物グループに関する議論を行う。また、近年の分子系統解析結果から見たゴンドワナ由来の哺乳類進化研究を生物学分野からご紹介いただく予定である。

司会・進行：堀利栄（愛媛大）

13:30-13:40 趣旨説明 相田吉昭（宇都宮大）

13:40-14:25 特別招待講演：**South-polar Gondwana: insights from the Permian to earliest Cretaceous record of Zealandia**

Hamish Campbell (GNS Science, Lower Hutt, New Zealand)

14:25-15:00 南極とパタゴニアからひもとくゴンドワナ植物の分布変遷

西田治文（中央大学）

15:00-15:35 トリゴニア類はなぜオーストラリアで生き残ったのか？：二枚貝類における
新旧交替の古生物地理学

近藤康生（高知大学）

15:35-15:50 休憩（15分）

15:50-16:10 ゴンドワナ・パンサラサ南部の前期三畳紀コノドントフォーナ -テチス・パ
ンサラサ中央部・ボレアルと比較して-

山北聡（宮崎大学）

16:10-16:30 ゴンドワナ由来の三畳紀～ジュラ紀放散虫フォーナ

相田吉昭（宇都宮大）・堀利栄（愛媛大）

16:30-17:00 招待講演：分子系統学から見たゴンドワナ由来の哺乳類の進化

西原秀典（東工大）

17:00-17:20 総合討論

堀利栄（愛媛大）

【18:00-20:00】 懇親会（愛媛大学 生協食堂 2階）

懇親会は予約制です。参加を希望される方は、必ず事前にメールかハガキで、

1月18日（木）[必着]までに、お申し込み下さい。

会 場：愛媛大学 大学会館（愛媛大学 生協食堂）2階

移 動：シンポジウム後、徒歩で移動。

会 費：一般会員・非会員・友の会会員…6,000 円、学生…4,000 円

申込先：岡本隆（愛媛大学 理学部 地球科学科；開催実行委員会 懇親会係）

メール：paleontol@sci.ehime-u.ac.jp

※件名は「日本古生物学会懇親会申込」とし、会員の種別（一般・友の会・非会員・学生）を明記してください。

ハガキ：〒790-8577 愛媛県松山市文京町 2-5

愛媛大学理学部地球科学科 岡本隆 宛

2月3日（土）愛媛大学 城北キャンパス

【9:30-10:30】 会長講演（A 会場）

前田晴良「アンモナイト化石を起点としたタフォノミーの挑戦」

【10:30-10:45】 休 憩

【10:45-11:45】 一般講演 口頭発表 1（A, B会場）

A 会場	B 会場
古脊椎動物学の部（1） 座長：松本涼子	分子・同位体古生物学の部 座長：磯和幸延
A01 w 吉澤和子・對比地孝亘・真鍋真 頭骨の CT スキャンデータを中心とした魚鱗類 <i>Utatsusaurus hataii</i> の骨格形態の再検討態	B01 m 土屋正史・力石嘉人・野牧秀隆・佐々木瑤子・多米晃裕・植松勝之・大河内直彦 アミノ酸窒素同位体比に基づく栄養段階推定によって明らかになった微小生息空間内の多様な資源利用形態
A02 w 佐藤たまき・小西卓哉・西村智弘・吉村健 北海道小平町から産出した基盤的なモササウルス類	B02 w 元橋大二郎・ジェンキンズロバート・後藤（桜井）晶子・力石嘉人・長谷川卓 軟体動物殻体化石におけるアミノ酸の保存性：地質時代の海洋生態系の復元に向けた基礎研究

A 会場	B 会場
古脊椎動物学の部 (1) 座長: 松本涼子	分子・同位体古生物学の部 座長: 磯和幸延
A03 m 平山廉・吉田将崇 モロ ッコ上部白亜系産の大型ボトレ ミス科 (曲頸類) について	B03 w 西田梢・安彩伽・南條暢 聡・高橋素光・石村豊穂 魚類 耳石の酸素・炭素安定同位体比 に記録された成長初期の環境・ 生態履歴—仔稚魚期イワシ類 を例に—
A04 w 河部壮一郎・藺田哲平・ 平山廉 現生カメ類における内 耳形態の変異	B04 m 甲能直樹・鵜野光 元 始、テチス獣類 (哺乳類: アフ リカ獣類) は海棲哺乳類であつ た!? 安定同位体が示唆する長 鼻類の水棲起源

【12:00-12:30】ランチョン小集会 みんなで語ろう「若手交流の会」 (B 会場)

世話人: 高津翔平 (岐阜県博物館), ロバート・ジェンキンズ (金沢大学)

趣旨: 日本古生物学会では, 古脊椎動物や無脊椎動物, 形態解析, 古環境, 古生態, 生層序, タフォノミーにいたるまで幅広いテーマをもとに研究の発表・報告が行われている. そのような本学会の中で, 特に研究の最前線にいる各大学の学生や若手の研究者同士の交流を目指した会があっても良いのではないかと考えた. 全国各地の大学や研究機関に所属する学生や若手研究者がそれぞれどのような研究を行っているのか, また, どのような成果を上げ論文等で公表しているのか. 互いの論文や研究情報の交換, 若手主催の巡検や懇親会の開催などを行う若手中心の会を立ち上げることを検討している. このランチョンでは, 上記の様な若手研究者の交流を主目的とした, 若手の会の設立やその活動について意見交換を行う. 多くの若手研究者の方々に集まっていただき, 会を設立するか, 設立するとしてどのような運営や活動を行っていくか, 活発な意見交換を行いたい.

話題提供: 高津翔平 (岐阜県博物館)

【13:00-14:30】一般講演 ポスター発表 (奇数番号コアタイム 13:00-13:45 偶数番号コアタイム 13:45-14:30)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| P01 松田萌子・竹村厚司・竹村静夫・山北聡 | 四国秩父帯の炭酸塩ノジュールから産するジュラ紀前期放散虫化石群集 |
| P02 藤井麻緒・堀利栄・大藤弘明・仲村康秀 | アカンタリア目骨格成分の元素分析 |
| P03 内藤陸・高木悠花・守屋和佳 | 始新世の温暖化イベント時における光共生性浮遊性有孔虫の動態 |
| P04 佐々木聡史・入月俊明・ト部厚志・林広樹・瀬戸浩二・酒井哲弥 | 長崎県壱岐島における完新世の微化石群集の変化 |

- P05 加瀬友喜・安里開士・小野輝雄 岐阜県大垣市のペルム紀赤坂石灰岩から産する *Shikamaia* 属の分類と成長様式
- P06 酒井佑輔・鹿澤優祐・近藤康生・松岡篤 福井県大野市の手取層群貝皿層（中部ジュラ系）より産出するトリゴニア類
- P07 安藤佑介・楓達也・藤原慎一・安藤瑚奈美・糸魚川淳二 瑞浪北中学校敷地造成工事現場（瑞浪市土岐町）の瑞浪層群明世層から *Crenomytilus grayanus* (Dunker, 1853)（二枚貝綱；イガイ科）の卓越する貝類化石群集の発見
- P08 横山紀樹・近藤康生 鮮新統穴内層から産出するバカガイ科二枚貝 *Mactra* sp. から現生種シオフキ *Mactra veneriformis* への進化
- P09 關明日香・ジェンキンズロバート 金沢市南部の下部更新統大桑層から産出した浅海性鯨骨群集
- P10 山形依舞・岡本隆 二枚貝類の蝶番構造を再現する幾何モデル
- P11 原巧輔・大路樹生 更新世のタマガイ科の捕食行動とサイズ分布の推定
- P12 磯和幸延・紀藤圭治・遠藤一佳 腕足動物における殻体タンパク質 ICP-1 の免疫学的研究
- P13 田中源吾・デイビッド シベター・マーク ウィリアムズ デボン紀福地層（下部石灰岩部層）から産出した介形虫化石群
- P14 新山颯大・小松俊文・田中源吾・ザン ディン フン・グエン ダック フォン 北部ベトナムのコートー諸島から産出した現生貝形虫群
- P15 大山望・前田晴良 上部三畳系美祢層群産の起源的なハチ目の分類
- P16 高橋恵里・大路樹生 現生ウミシダが受ける捕食圧の深度・緯度による変化と捕食者の推定
- P17 簗本美孝 長崎県壱岐産中新世のケツギョ科魚類の一未記載種について
- P18 根之木久美子・前田晴良・田中源吾・岩井秀夫・遠藤広光・水野吉昭・蜂矢喜一郎 発光器が残された中新統師崎層群産ソトオリイワシ科魚類化石
- P19 高津翔平・河部壮一郎・久保貴志・西谷徹・久保泰・宮田和周・藺田哲平・服部創紀・酒井佑輔・松本正樹・東洋一 岐阜県大白水地域の下部白亜系手取層群より産出した脊椎動物化石（予報）
- P20 安藤瑚奈美・藤原慎一 水生四肢動物の肩関節位置と慣性主軸の関係
- P21 加藤太一・藺田哲平・宮田真也・河野重範・国府田良樹・安藤寿男 那珂湊層群磯合層産スッポン類化石の新標本とその意義
- P22 上田裕尋・對比地孝亘 爬虫類の前肢血管系の相同性
- P23 辻野泰之・東洋一・宮田和周・中尾賢一・藺田哲平・河部壮一郎 徳島県勝浦町の下部白亜系立川層（物部川層群）から発見された竜脚類恐竜の歯
- P24 吉田純輝・Tsogtbaatar Chinzorig・小林快次・Khishigjav Tsogtbaatar モンゴル西部より産出したジュラ紀後期の竜脚類化石
- P25 関谷透・金幸生・東洋一 中国雲南省禄豊県から産出した *Yunnanosaurus*（基盤的竜脚形類）の新たな頭骨化石
- P26 對比地孝亘・渡部真人・Khishigjav Tsogtbaatar 断片的な標本に基づくモンゴル・上部白亜系 Bayan Shire 層における獣脚類恐竜類の多様性に関する新知見
- P27 黒須弘美・宮田和周・廣瀬浩司・鶴飼宏明・関谷透・東洋一 熊本県天草市の姫浦層群（白亜紀後期）より産出した大型獣脚類の歯化石について
- P28 築地祐太・東洋一・河部壮一郎 3D デジタルデータを用いた足跡化石の印跡動物の再検討 岐阜県大白水地域から産出した恐竜足跡化石の場合
- P29 山本雄大・Khishigjav Tsogtbaatar・Sanjaadash Ulziitseren・Purevdorg Khatanbaatar・実吉玄貴 モンゴル産 *Protoceratops* の成長過程とフリル形態の変化
- P30 森浩嗣 長崎県西海市の西彼杵層群（始新世末期～漸新世最初期）から発見されたプロトプテルム類標本について
- P31 渡辺順也・松岡廣繁・長谷川善和 中-後期更新世の海洋環境変動に伴う海鳥群集の応答：青森県尻屋地域の例

- P32 陣内香苗・楠橋直・劉俊・高橋文雄・篠田健二・長谷川善和 山口県の上部三畳系美祢層群桃ノ木層から産出したディキノドン類化石
- P33 水野史博・藤原慎一 陸棲哺乳類の後肢姿勢の復元
- P34 澤浦亮平・木村由莉・久保麦野 シリコーン印象材の物性と歯のマイクロウェア印象精度の関係性
- P35 半田直人・西岡佑一郎 タイ北東部ナコンラチャシマより産出した中新世 *Brachypotherium* 属（奇蹄目，サイ科）化石
- P36 田中嘉寛・フアン・アベヤ・ガブリエル・アギーレ＝フェルナンデス・マリア・グレゴリ・ユワン・フォーダイス 新たなエクアドルの漸新世イルカ化石
- P37 岡村太路・藤原慎一 鯨類における摂食行動と環椎後頭関節可動角度の関係
- P38 新村龍也・田中嘉寛・澤村寛・安藤達郎 北海道浦幌町の鮮新統十勝層群本別層から産出したアシカ科化石
- P39 加藤敬史 長崎県松浦市から産出した後期漸新世キヌゲネズミ科齧歯類化石
- P40 Jaroon Duangkrayom・Yuichiro Nishioka・Shoakun Chen・Pratueng Jintasakul・Narongrit Thungprue・Rattapong Worawansongkham Quaternary mammalian fossils from Wang Kluai Cave, Thungwa, Satun, southern Thailand
- P41 徳川広和・高井正成 ダーウィニウス復元模型製作
- P42 佐々木綾香・岡本隆・塚腰実 中新統久万層群産植物化石群の特徴とその変遷（予察）
- P43 池田裕香・椎野勇太 パイゴープの穴：排泄物高速排泄システム
- P44 川口昌人・奈良正和・清家弘治 白亜系犬吠埼層産標本群の観察に基づく生痕化石 *Phoebichnus trochoides* の新解釈
- P45 荻野慎諧 「信濃奇勝録」に見られる古生物記録

高校生ポスターセッション

- HP1 田千佳・平野真梨奈・原田伊織 Whole plant reconstruction から見た暁新世港層産“無道管被子植物”の材化石
- HP2 三雲卓斗・樋口広誠・吉光航大・矢野太一・木村里音・丑田智佳・中野智宏 化石花粉から見たミツガシワ自生地における植生変遷
- HP3 田中拓海 絶滅種ワニ *Diplocynodon* sp. と *Toyotamaphimeia machikanensis* の全長推定
- HP4 村松辰一郎 更新統谷下層産出の小白歯によるニホンムカシジカの同定

【14:30-15:30】一般講演 口頭発表 2（A,B 会場）

A 会場	B 会場
古脊椎動物学の部（2） 座長：河部壮一郎	形態解析・機能形態学の部 座長：木村由莉
A05 m 松本涼子・董丽萍・王原・スーザン エバンス 中国河北省の後期ジュラ紀の地層から発見されたほぼ完全なコリストデラ類について	B05 w 生形貴男 アンモノイドの静水力学的形状特性と流体力学的形状特性の変遷

A 会場	B 会場
古脊椎動物学の部 (2) 座長: 河部壮一郎	形態解析・機能形態学の部 座長: 木村由莉
A06 m Tsogtbaatar Chinzorig・小林快次・ Khishigjav Tsogtbaatar・高崎 竜司・田中公教・飯島正也 モ ンゴル・ネメグト層から産出 するオルニトミモサウルス類: 手 の形態変化と多様性	B06 _ 椎野勇太・栗原敏之・一 戸凌・岸本直子・吉野隆・松岡 篤 表か裏か? CT 画像からみ た平板形放散虫の形態解析
A07 w 田中康平・Darla Zelenitsky・François Therrien 主竜類における孵 化日数の変遷	B07 m 松井久美子・Racicot, Rachel Ann・Veletz-Juarbe, Jorge・對比地孝亘・甲能直樹 奇妙な耳: 束柱類の内耳形態が 語る水棲適応と古生態への示 唆
A08 w 高津翔平・Sardsud, A.・Saesaengseerug, D.・ Pothichaiya, C.・上松佐知 子・指田勝男 タイ国東北部の 足跡産地 Huai Dam Chum から産 する恐竜足跡群〜印跡動物オ ルニトミモサウルス類の可能性 を探る〜	B08 m 藤原慎一・齊藤浩明・岩 間由希 姿勢変化に伴うトガリ ネズミ形類の胸鎖関節の二次的 抗圧縮適応

【15:30-15:45】休 憩

【15:45-17:00】一般講演 口頭発表 3 (A, B 会場)

A 会場	B 会場
古脊椎動物学の部 (3) 座長: 関谷透	古植物学の部 座長: 西田治文
A09 w 三枝春生・池田忠広・久 保田克博・生野賢司・菊池直樹 下部白亜系篠山層群の脊椎動 物化石新産地	B09 m 山田貴絵・寺田和雄・朝 川毅守・矢部淳・Julien Legrand・植村和彦・Marcelo Leppe・Luis Felipe Hinojosa・ Patricio López Sepúlveda・西 田治文・山田敏弘 チリの上 部白亜系から産出した <i>Sueria</i> 属 の葉化石の解剖学的特徴とその 分類学的意義
A10 w 松岡廣繁・高橋麻衣・渡 辺順也・辻野泰之・奥平耕右 淡 路島の和泉層群下灘層 (マース トリヒチアン) から新鳥類の骨 盤化石を発見	B10 w 塚腰実・岡本隆・堀利栄 久万層群から発見されたアスナ ロビシ属果実化石について

A 会場	B 会場
古脊椎動物の部 (3) 座長: 関谷透	古植物学の部 座長: 西田治文
A11 _ 浦野雪峰・田上響・松本涼子・河部壮一郎・大橋智之・藤原慎一 薄片観察によって明らかになったトリのクチバシ角質部の層構造	B11 w 成田敦史・乙幡康之 北海道糠平地域の植物化石群の年代と古植生
A12 w 鮫島悠甫・松岡廣繁 シカ科現生種の角の枝の相同関係-化石種の系統分類にむけて-	B12 _ 矢部淳 “鮮新世美濃白鳥植物群”の再検討-第四紀植生の立体構造と新第三紀要素の古生態解明にむけて-
A13 m 西岡佑一郎・甲能直樹・工藤雄一郎 <i>Proboselaphus watasei</i> Matsumoto ホロタイプの再発見	B13 m 佐々木猛智・伊藤泰弘・松原尚志・兼子尚知 古生物学を効率化する博物館標本データベース

【17:00-17:10】休 憩

【17:15-17:30】ポスター賞表彰式（ポスター会場付近）

【17:30-19:30】夜間小集会「古生物学における X 線 CT スキャナーの活用 II 実践編」（A 会場）

世話人：竹田裕介（東京大学）

趣旨：X線CTの基礎的な原理や分析の流れを紹介した前回に続き，今回は，X線CTの特長を活かしてどのような研究が展開できるのか考える．岩石中に埋没している植物化石の探査手段としてX線CTを利用している西田治文氏をお招きし，形態情報の取得手段にとどまらない，X線CTがもつポテンシャルを議論する．X線CT経験者だけでなく，興味を持っている未経験者にも有益な情報を共有したい．

話題提供：西田治文（中央大学）「鉍化石植物を復元する：CT から薄片まで」

竹田裕介（東京大学）「体化石の形態と化学組成を推定する：放射光を用いた研究例」

2月4日(日) 愛媛大学 城北キャンパス

【9:30-10:45】一般講演 口頭発表 4 (A, B会場)

A会場	B会場
古脊椎動物学の部 (4) 座長:西岡佑一郎	生層序学の部 座長:高橋聡
A14 m 高井正成・楠橋直・タウンタイ・ジンマウンマウンテイン・江木直子・浅見真生 ミャンマー中部における後期中新世の動物相の変化について	B14 w 小松俊文・浦川良太・兒子修司・高嶋礼詩・山口龍彦・グエン・ダック・フォン ベトナム北部のドンバン地域に分布する上部デボン系トクタット層から産出するテナキュリトイド
A15 w 田邊佳紀・中務真人・國松豊・仲谷英夫 ケニア北部ナカリ層から産出した後期中新世齧歯類4科について	B15 w 指田勝男・上松佐知子・小沼拓也 関東山地南東縁部の秩父帯花桐層玄武岩ーチャートシケンズから産する前期ペルム紀放散虫
A16 m 澤浦亮平 青森県下北半島尻労安部洞窟から出土した後期更新世ノウサギ属の種同定	B16 m 佐野弘好 岐阜県舟伏山東部の美濃帯ペルム系石灰岩
A17 m 木村由莉・福井大・川田伸一郎・吉行瑞子・鈴木希実 南西諸島の海洋島に生息していた食虫性コウモリ類の存在	B17 m 桑原希世子・佐野弘好 異なる年代を示す放散虫共存の謎に挑むー美濃帯ペルム系チャートでの事例 (その2)
A18 w 浅見真生・張穎奇・金昌柱・高井正成 幾何学的形態解析によるマカク属遊離歯化石の種同定の試み	B18 w 村松亜希人・森永優・鈴木寿志 亀岡市保津峡沿いにおける丹波地体群の放散虫年代

【10:45-11:00】休 憩

【11:00-12:15】一般講演 口頭発表 5 (A, B会場)

A会場	B会場
形態解析・古生態学の部 座長:田中源吾	生層序学・微古生物学の部 座長:桑原希世子
A19 w 佐藤慎一・池田尚人・津谷彰洋・佐藤瑞紀 浜名湖におけるアサリの生殖周期と貝殻形態の季節変化に見られる種内変異の解析	B19 m 山北聡・竹村厚司・相田吉昭・堀利栄・高橋聡・Hamish Campbell・Bernhard Spörli 両極分布を示す前期三畳紀コノドント <i>Wapitiodus</i>

A 会場	B 会場
形態解析・古生態学の部 座長：田中源吾	生層序学・微古生物学の部 座長：桑原希世子
A20 w 岩田繁英・吉田勝彦・棚部一成 二枚貝の最適生活史戦略についての数理的解析	B20 m 高橋聡・山北聡・鈴木紀毅 最前期三畳紀遠洋深海性黒色粘土岩から産したプラットフォーム型コノドント自然集合体
A21 m 山口龍彦 海生貝形虫の殻の石灰化と系統との関連性	B21 w 鈴木紀毅・張蘭蘭・仲村康秀・辻彰洋 共生藻類をもつ現生放散虫
A22 w 菊地一輝 上部白亜系蝦夷層群三笠層の浅海堆積物から産出した生痕化石 <i>Paleodictyon</i>	B22 m 板木拓也・平陽介・鍬守直樹・斎藤仁志・河地正伸・星野辰彦 人工知能による放散虫の自動分類と今後の展望
A23 m 奈良正和 前期-中期中新世西南日本弧の古生態学：三崎層群堆積盆の特異性	B23 w 野牧秀隆・土屋正史・多米晃裕・矢生晋介・松崎琢也・村山雅史 底生有孔虫 <i>Globobulimina affinis</i> の細胞立体構造・微細構造の特徴と貧酸素環境への適応戦略

【12：30～14：30】化石友の会イベント 研究者との交流会（A 会場）

友の会会員向けのイベントとして研究者との交流会を開催します。古生物学研究の第一線で活躍されている大学や博物館の先生方に日頃抱いている質問をしたり，お話しをしてみませんか？

- ・会場：A会場（愛媛大学理学部講義棟S32）
- ・定員：20名（友の会会員の方；古生物学会の一般の会員の方の申込は不要です）
- ・申込方法・締切：2018年1月20日（水）までに friends@palaeo-soc-japan.sakura.ne.jp 宛にお名前，連絡先（電話番号）を添えてお申し込みください。定員になりしだい締め切らせていただきます。

※当日は各自お弁当をお持ちください。

※お時間のある研究者の方は当日12時30分にA会場にお越しください。

※参加するには学会参加費（友の会会員1,000円）が必要です。

***** 3. 発表方法及び機器についての注意事項など *****

<口頭発表をされる方へ>

- 講演には会場備え付けのパソコンをご利用ください。講演会場には Windows (PowerPoint 2016) と Mac (PowerPoint for Mac 2011) を準備しています。PDF での講演も可能です。講演データはフォント埋め込みで準備されることをお勧めします。
- データ受け渡し専用の窓口は設けませんので、2月3日(土)の午前8:00以降、講演セッション開始前までに、各自でご自身の講演会場のパソコンに講演データをコピーしてください。講演中はデータのコピーはできませんので、時間に余裕を持ってお越しください。各パソコンのデスクトップにはセッションごとのフォルダがありますので、ご使用になるパソコンの講演セッションのフォルダ中にデータをコピーして、各自で動作確認をお願いします。
- ファイル名は本プログラムの番号を利用し「A05m_Ehime (筆頭演者)」のようにしてください。
- ご不明なことがございましたら、講演会場の係にお尋ねください。

<ポスター発表をされる方へ>

- 一発表につき、横 900 mm × 縦 2,100 mm の区画を用意します。ポスターは、A0 サイズ (841 mm × 1,189 mm) 程度までの、区画に収まるサイズでご準備ください。
- ポスターは2月3日(土)の午前8:00から貼ることができます。また、ポスターはコアタイム終了後、遅くとも2月4日(日)の昼12:00までに各自で撤収してください。詳しくは例会受付までお尋ね下さい。
- ポスターの掲示用画鋏は会場で用意します。

会場及び発表方法・機器に関する問い合わせ先

開催実行委員会 会場係：楠橋直（愛媛大学） E-mail: nkusu@sci.ehime-u.ac.jp

行事係：遠藤一佳（東京大学） E-mail: endo@eps.s.u-tokyo.ac.jp

その他

- ご来場について：学会開催期間中、建物入口のドアは、7:00 までは開きません。
- 懇親会について：本プログラム iii ページ参照。なお、未成年の方は懇親会に参加できません。ただし、保護者同伴の未就学児についてはこの限りではありません。
- 昼食に関する情報：学会でのお弁当の用意はありません。2月2日（金）および2月3日（土）は生協食堂が開いています。2月3日（土）の11:30～13:30は、理学部本館2階の生協ミニショップ「テラシス」が臨時開店しています。また、大学近くには飲食店やコンビニ、スーパー等があります。
- 大学内での飲食・喫煙：飲食は休憩室やA会場・B会場でお願いいたします。展示室やポスター会場での飲食はご遠慮ください。また、大学構内は基本全面禁煙ですので、お煙草は所定の喫煙場所（理学部構内では、理学部本館の北側にある駐輪場の東側）でお願いいたします。
- お車での来場：大学には使用できる駐車場はありません。大学近くのコインパーク等をご利用ください。
- 愛媛マラソンの影響で宿泊が取り難い場合は、下記ウェブサイトをご参照ください。
松山宿泊施設紹介サイト http://www.mcvb.jp/kankou/index_onsen.php
- 愛媛大学ミュージアムは入場無料です。ミュージアムの詳しい位置については、下記ウェブサイトをご参照ください（観覧時間は10:00～16:30、入館は16:00まで）。
<https://www.ehime-u.ac.jp/overview/facilities/museum/museum-access/>

- 託児所：大学周辺に以下の託児施設があります。

株式会社 マミーズファミリー「キッズパオ 松山 あおぞら園」

サービス問合せ先→TEL：0120-194-041

※スポット保育コース（最低2時間からの利用）

〒790-0813 愛媛県松山市萱町二丁目4-5 TEL：089-947-7881

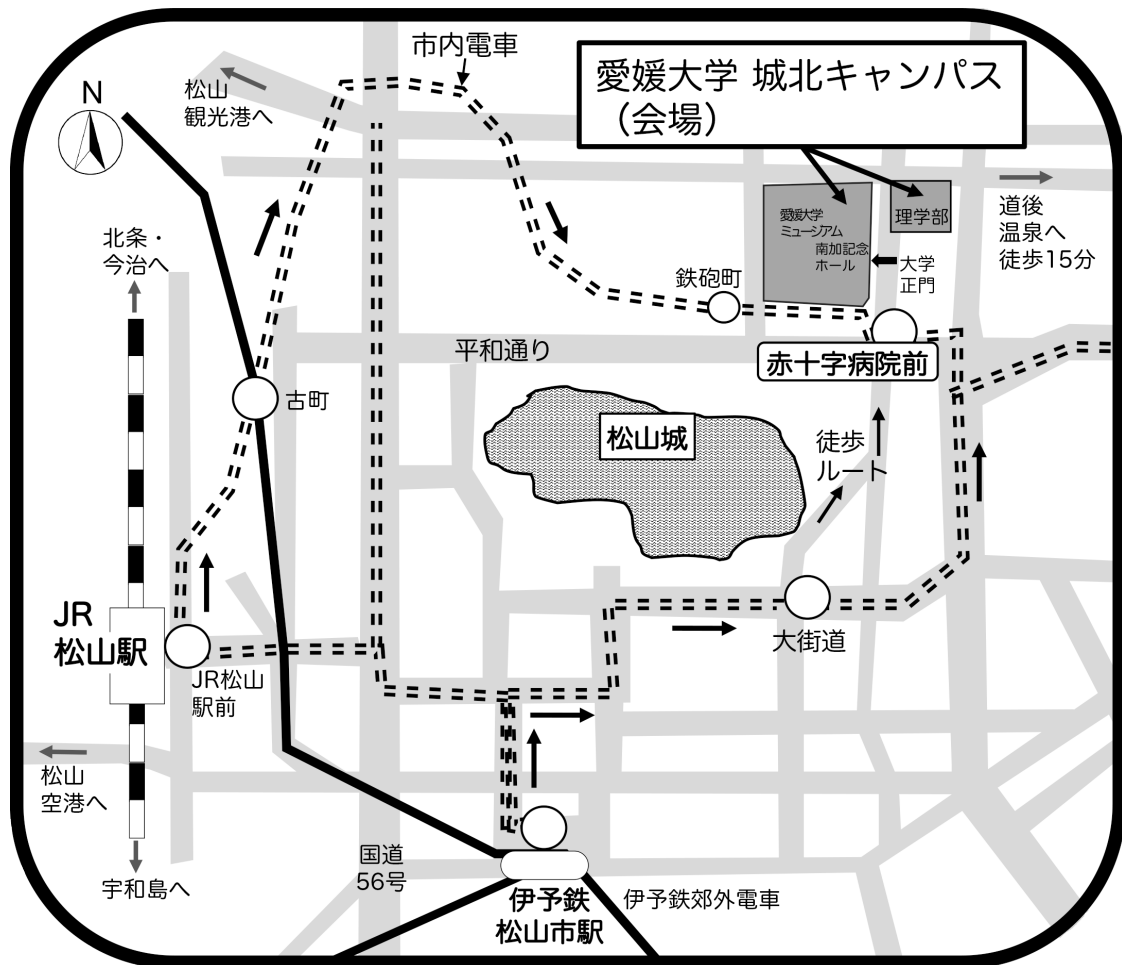
<http://www.mammys-f.jp/about-1-detail.php?pcm=on&rtn=/about-1.php&ini=7>

詳細は各自お問い合わせください。他にも市内には託児施設がありますので、各自調べてください。

- 盗難対策：最近，本学会を含め，学会開催中の盗難が報告されています。貴重品は各自の責任で管理をお願いいたします。
- 写真およびビデオ撮影について：発表者の許可なく講演およびポスター発表を撮影することを禁止します。

***** 4. 会場案内 *****

愛媛大学城北キャンパスへのアクセス



電車をご利用の場合

<JR 松山駅方面から>

市内電車の JR 松山駅前で環状線右回りに乗車，赤十字病院前駅下車，徒歩 4 分

<伊予鉄松山市駅方面から>

市内電車の松山市駅で環状線左回りに乗車，赤十字病院前駅下車，徒歩 4 分

お車をご利用の場合

松山自動車道『川内 IC』より車で約 40 分

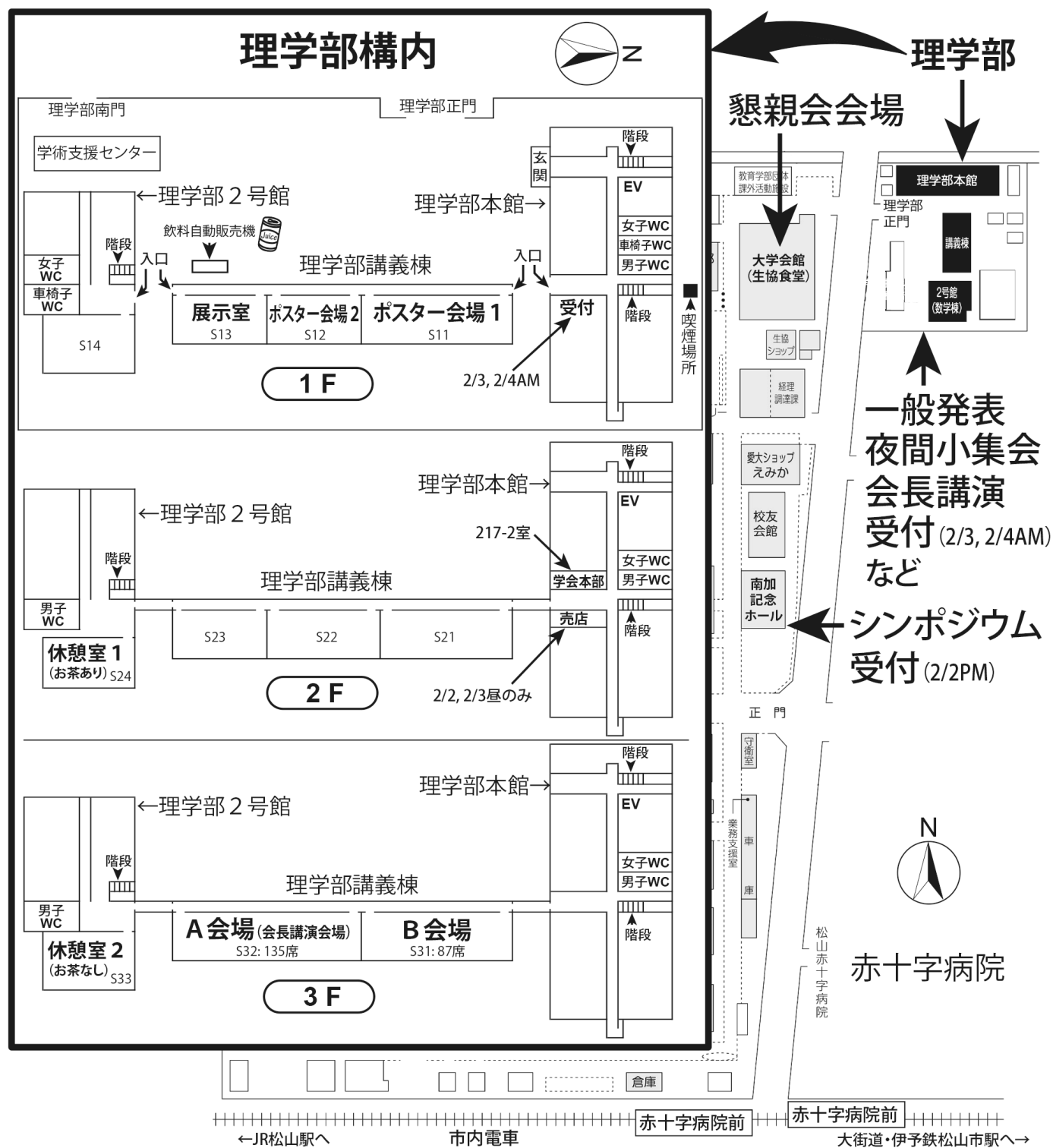
松山自動車道『松山 IC』より車で約 15 分

駐車場は，大学付近のコインパーク等をご利用ください。

飛行機をご利用の場合

松山空港からバスで JR 松山駅前まで移動，市内電車の JR 松山駅前で環状線右回りに乗車，赤十字病院前駅下車，徒歩 4 分

古生物学会 愛媛例会 会場図



*大学構内は指定された喫煙場所を除いて禁煙です。

*喫煙場所は、理学部本館の北側にある駐輪場の、東側にあります。